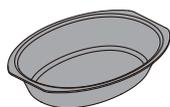
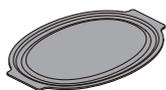


## 各部名称



本体



ふた



支持枠

## 必ずお守りください

グリルの使用方法については、機器に付属の「取扱説明書」をよく読んでください。

※グリル受け皿には水を入れないで使用してください。

### ⚠警告

- ・ 予熱以外の空焚きはしない  
火災や変形、破損などの原因になります。
- ・ 油を入れて、揚げものに使用しない  
油が過熱され、発火するおそれがあります。
- ・ 使用後は必ずお手入れする  
また、続けて使用する際は、その都度  
たまった食品くずや脂などを取り除く  
火災や焦げ付きの原因になります。
- ・ 水などの液体を大量に入れて調理しない  
一酸化炭素中毒や燃焼不良の原因になります。

### ⚠注意

- ・ 調理以外の目的や業務用としては使用しない  
変形、破損の原因になります。
- ・ 調理する際は取り付けかたを確認し、  
グリル焼網を必ず取り外して本体は支持  
枠に直接のせる  
破損の原因になります。
- ・ 必ず弊社指定のガスコンロで使用する  
指定外の製品では使用しない  
破損の原因になります。
- ・ 予熱する場合は中火で加熱する  
調理時は焼きすぎに注意し、内容によ  
っては火を止め、余熱で調理する  
変色、変形する場合があります。
- ・ 落下などの強い衝撃を与えない  
変形、破損の原因になります。
- ・ 高温状態の本製品を水などに入れて急  
冷しない  
変形、破損の原因になります。
- ・ 支持枠は無理に引っ張ったり、強い力  
を加えない  
破損の原因になります。
- ・ ふたや本体だけで調理に使用しない  
やけど、破損の原因になります。
- ・ ふたには表裏があるため、取り付けか  
たに記載されている内容を確認し、注  
意して取り付ける  
落下による破損や機器の損傷の原因になります。
- ・ 調理後、取り出す際はグリルとびら取  
っ手を持って手前に止まるまで引き出  
し、グリルとびら取っ手以外には触れ  
ないよう注意する  
やけどの原因になります。
- ・ 調理終了などでグリルとびらを開ける  
際は、必ず消火してから開ける  
グリル過熱防止センサーがはたらき、消火する  
場合があります。
- ・ 調理中や調理後は高温になっているた  
め、持ち運びの際は耐熱性の鍋つかみ  
やミトンを使用する  
やけどの原因になります。
- ・ 鍋つかみやミトンで持っても熱く感じる  
場合は、乾いたふきんなどを使用する  
濡れたふきんは使用しないでください。  
やけどの原因になります。
- ・ 調理後は高温になっているため、食卓  
などに置く際は耐熱性のある鍋敷きの  
上に置く  
ふきんを鍋敷き代わりに使用したり、  
布や木製の鍋敷きは使用しない  
食卓が焦げたり、破損の原因になります。

## ⚠️ 注意

- 取扱説明書&クッキングブック(本書)に記載のレシピ以外で、冷凍や冷蔵の食材を使用する場合は、あらかじめ食材を常温に戻してから調理する  
調理時間が足りずに生焼けになったり、グリル過熱防止センサーがはたらいて、グリルが自動的に消火することがあります。

## ○使用前のお願い

脂分が少ない食材を焼く際は、本体の内側に油を塗ってください。  
ひと手間かけることで、食材が本体にくっつきにくくなります。

- ①油を小さじ1~2杯(5~10ml)入れる。

油を入れる



- ②キッチンペーパーなどで薄くのばす。

油を薄くのばす



## ○使用時のご注意

- ご購入後初めて使用する場合は、スポンジに台所用中性洗剤とお酢をつけて、本製品についている油やホコリをよくこすり洗いしてください。  
油分が残ったまま火にかけると油が付着して、変色の原因になります。
- 火力、燃焼時間によっては本製品が変色する場合がありますが、材質の特性であり問題ありません。変色などが気になる場合は、本書9ページの『〇焦げ付きや変色、斑点、シミが残った場合のお手入れ』に記載されている手順をお試しください。
- アルミはやくクッキングシートを敷いて使用する際は、本体に密着させ、はみ出ないようにし、ふたが浮かないようにしてください。
- 大きな食材は切り、本体からはみ出したり、ふたが浮かないようにして調理してください。
- 火力が強すぎると食材がくっついたり、焦がしてしまう場合があります。適切な火力で調理し、内容によっては火を止め、余熱で調理してください。
- グリルタイマーをご活用ください。グリル庫内は高温のため、数分の違いで焦がしてしまう場合があります。
- オートグリル機能は使用しないでください。
- 連続の使用などでグリル庫内が高温になると、安全のため消火します。最初の調理完了から、3~5分以上待ってから調理してください。  
※時間は機種により異なりますので、機器付属の取扱説明書をご確認ください。
- グリル過熱防止センサーがはたらいて消火した場合(タイマー表示部『02⇄\_5』点滅表示)は、点火/消火ボタンを押して『消火の状態』に戻し、3~5分待ってから再度点火してください。  
※時間は機種により異なりますので、機器付属の取扱説明書をご確認ください。
- 本体の中に料理を入れたまま放置したり、保存容器として使用しないでください。  
腐食や変色の原因になります。
- 食材がこぼれたりしないよう、グリルの開閉は丁寧に行ってください。  
激しい開閉は本製品やグリルに傷がつく場合があります。
- 本体やふたの上で包丁などの鋭利な刃物で食材を切らないでください。  
傷がついて腐食の原因になる場合があります。
- 脂分の多い食材を調理する場合、底にたまった脂が高温になり煙が出る場合があります。
- 食材の大きさなどが理由で、料理のできあがり写真とは異なる場合があります。レシピに記載の加熱時間はあくまで目安としてください。